

学校だより

令和4年12月23日

磐田市立南部中学校

# みどりの子ら 校訓：自立 創造 奉仕

【学校教育目標】 自ら学び 共に生きる たくましい生徒



文責：金原

## 挑戦を続けよう 『やれば成長できる』～終業式 校長式辞～

8月26日にスタートした2学期が本日で終了します。授業日数は81日間で、季節は夏から秋、そして冬になりました。この81日間という2学期は皆さんにとってどんな学期でしたか。私が実際に皆さんの様子を見て感じたこと、そして学年主任の先生が毎回私に渡してくれる学年通信を読ませてもらって感じていることを少しお話しさせていただきます。

1年生は、中学校生活にも慣れ、学習や委員会活動、部活動に伸び伸びと意欲的に取り組んでいました。また、学年全体で欠席率が低いことや、給食の残食を減らそうと努力し、それが成果に表れていることも素晴らしいと感じています。緑友祭での1年生らしい元気でさわやかな合唱もとても良かったです。今から3学期が楽しみです。

2年生は、生徒会や委員会活動・部活動等、学校生活全般に渡り3年生からたくさんの方のサポートを受けました。その責任を背負いながら、自分たちが中心となって、より良い南部中を創り上げていこうという気持ちや行動が様々な場面で見られることを嬉しく思っています。職場体験にも出かけ、多くの学びを持ち帰ることもできました。3学期の益々の活躍を期待します。

3年生は、部活動も終了し、進路決定に向け、自分と向き合い、自分を信じて学習に力を入れた学期だったと思います。また、中学校生活最後の緑友祭では、最上級生にふさわしい、迫力ある感動的な歌声を響かせ、下級生の良き目標となってくれました。進路決定に向けての努力はこれからも続いていきますが、一人で乗り越えようとするのではなく、仲間と共に、今まで以上に励まし合い、切磋琢磨し合っ、希望する進路を実現させてほしいと願っています。

さて、話しは変わりますが、皆さんはお笑いコンビ「ティモンディ」の高岸宏行さんを知っていますか。高岸さんは今年、お笑い芸人でありながら、プロ野球の独立リーグに入団し、お笑い芸人とプロ野球選手の二刀流が話題になりました。高岸さんといえば、『やればできる』の決め台詞で人気ですが、実は『やればできる』は、彼が通っていた愛媛県の高校の校訓だったそうです。

当時野球部に入部していた彼は、この校訓の下、高校球児あこがれの甲子園出場を目指し、毎日の練習に励みました。最終的には3年生の最後の夏、あと一つ勝てば甲子園という試合で負けてしまいます。後にこの時のことを振り返ったインタビューの中で高岸さんは、「決勝で負けて甲子園に行けませんでした。成長は確実にできたという実感があるんです」と述べていました。また、「この経験から、『やればできる』は『やれば成長できるよ』という気持ちを込めて伝えていきます。」とも述べていました。つまり、高岸さんの決め台詞『やればできる』は『やれば成功できる』ではなく『やれば成長できる』という意味だったのです。

また、高岸さんは、プロ野球独立リーグのBC栃木への入団会見でも、「何歳になっても、夢へ挑戦することに遅いなんてことはない、挑戦自体が楽しく素晴らしいということを、自分の姿勢やプレーでお伝えできればと思っています」と述べています。

この高岸さんの『やればできる』の考え方や行動は、今年度南部中学校が皆さんに期待している姿とも合致します。皆さんは4月から今日まで、学校生活や家庭、地域で、間違いや失敗を恐れず、チャレンジを続け、自分の良さや可能性、そして自分の成長を実感することができたでしょうか。この冬休みも、そして3学期も、自分なりのチャレンジ、挑戦を続け、高岸さんの言う『やれば成長できる』自分を実感してほしいと思います。

この冬休みも新型コロナウイルスの感染が心配されますが、各自が感染防止対策をしっかりと行い、新年1月6日の始業式に、それぞれの希望や目標を持ち、目を輝かせて登校した皆さんと元気に会えることを楽しみにしています。それでは少し早いですがよいお年をお迎えください。

## 『一隅を照らす』

## 「利他の心」素晴らしい！



天台宗の開祖、最澄の言葉

「一人ひとりが自分のいる場所で、自らが光となり周りを照らしていくことこそ、私たちの本来の役目であり、それが積み重なることで世の中がとくられる。」

学級	氏名	受賞理由等
1年1組	片岡 優菜	音楽科教科係の仕事や保健委員会の活動に責任をもって取り組み、大切なお知らせがあればしっかりとクラスに伝えました。
1年2組	鈴木 海楓	全員が時間を守って「ごちそうさま」の挨拶ができるよう、毎日かかさず声かけをしました。
1年3組	山本 結万	係の仕事や委員会の活動など何事にも誠実な姿勢で取り組むとともに、誰に対しても優しい態度で接しました。
1年4組	山田 雄正	緑友祭伴奏者として夏休みから一早く練習を行い、音楽的な知識を駆使してパートメンバーに指導し、練習の核となりました。
1年5組	山本 瑠菜	緑友祭の指揮者として練習を重ね、優勝に貢献しました。クラスのメンバーに声をかけ、スムーズに練習ができるようにしました。
2年1組	原田 まみ	季節に合った背面黒板を描き、学級を華やかにしました。また、学習に誠実に取り組んだり誰に対しても優しい態度で接したりしました。
2年2組	太田あんり	友達に常に気配りをし、状況を考えて言葉を掛けたり手助けをしたりするなど、思いやりをもって生活しています。
2年3組	澤木 玲央	自分の立てた目標に寸暇を惜しんで努力を重ねました。緑友祭では指揮者として曲想をとらえて練習し、学級を一つにまとめ上げて金賞に導きました。
2年4組	山口 陽	素敵な笑顔で周囲の雰囲気を明るくしました。また、緑友祭のナレーターとして合唱曲のイメージを見事に伝えました。
2年5組	津田みづき	常にクラスのことを気にかけて、授業準備や黙想時に声を掛けました。他の人の仕事も積極的に手伝うなどクラスのために進んで行動しました。
3年1組	仲野谷健士郎	緑友祭のナレーターに立候補し責任をもってやり遂げました。また、係の仕事や清掃に誠実に取り組みました。
3年2組	古里 七海	自分の役割を果たすだけでなく、給食の準備を率先して手伝い、クラスのために行動しました。また、自分の目標に向かって努力する姿が見られました。
3年3組	太箸 一翔	緑友祭の練習では、使用教室の鍵を開け、CD デッキの準備をすることで、合唱がスムーズにできるようにするなどクラスに貢献しました。
3年4組	山本 瑞希	食缶や四角缶をワゴンから配膳台に素早く移動させるなど、毎日の給食の準備がスムーズに行われるよう行動しました。
3年5組	デメロジュリア	分け隔てなく誰とでも気さくにに関わり、他の人の仕事も積極的に手伝うなどしてクラスのために進んで行動しました。



12月24日(土)～1月5日(木) ※13日間

健康で充実した年末年始を過ごしてほしいと願っています。  
新たな一年を迎えるにあたり、「なりたい自分」をイメージして、実現可能な目標を立てるのもいいですね！